



平成 20 年 10 月 22 日

各 位

会 社 名 ラサ工業株式会社  
代表者名 取締役社長 柳 萬 雅 徳  
(コード番号 4022 東証第 1 部)  
問合せ先 経理部長 小 野 茂 夫  
(TEL. 03-3278-3892)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 5 月 15 日の決算発表時に公表した平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想

(単位:百万円)

第 2 四半期累計期間	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	17,700	750	500	150	1 円 89 銭
今 回 修 正 (B)	18,200	1,000	750	500	6 円 31 銭
増 減 額 (B-A)	500	250	250	350	—
増 減 率 (%)	2.8	33.3	50.0	233.3	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	15,808	944	688	392	4 円 95 銭

#### 2. 個別業績予想

(単位:百万円)

第 2 四半期累計期間	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	15,700	700	450	150	1 円 89 銭
今 回 修 正 (B)	16,200	700	550	350	4 円 41 銭
増 減 額 (B-A)	500	—	100	200	—
増 減 率 (%)	3.2	—	22.2	133.3	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	14,373	838	619	371	4 円 68 銭

### 3. 修正理由

#### 第2四半期累計期間業績

化成品事業は、半導体・液晶製造工程向け高純度燐酸などの販売が好調であったことに加え、原材料価格の高騰に対する販売価格の是正が比較的順調に進み、損益への悪影響が当初予想を下回ったこと等により、当初計画に比べ増収増益となる見込みであります。また、機械事業も全般的に当初の見込みに比べて堅調に推移しております。一方で、電子材料事業のシリコンウェハー再生事業は、半導体市場の悪化が顕在化し競合他社との競争が激化したこと等から、当初計画を下回る状況となりました。

これらを併せた結果、第2四半期累計期間業績につきましては当初予想に比べ増収増益となる見通しであることから、今回平成21年3月期第2四半期累計期間業績の業績予想を修正いたしました。

#### 通期業績

化成品事業は、秋口以降景気減速に起因すると思われる販売数量の減少が見られており、また主原料である黄燐について、中国の関税動向を含めた価格変動と供給不安が依然根強い状況にあります。電子材料事業のシリコンウェハー再生事業につきましては、引き続き半導体市況の悪化が進むものと予想しております。

これらの先行き不安要素の業績に与える影響については現時点で不透明感が強く、通期の業績について正確に把握することが出来ないため、今回は通期業績予想の見直しを行っておりません。

※上記の予想は発表日現在において入手可能な情報および見通しに基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上